

● 蠱毒（靈的な毒物）、鬼人、恋愛呪術など、中国南部に顕著な呪術的民俗伝承を、文献と調査から克明に抽出・分類し、基礎資料を提示、アジア民俗世界の全体像に迫る。

# 中国の「憑きもの」

## 華南地方の蠱毒と呪術的伝承

東京理科大学 川野明正 著

本書は、これまで民間信仰としての内実が知られることの少なかった蠱毒など、呪術的内容をもつ靈物の伝承を取り上げ、中国における民俗社会の心性に光を当てる。蠱毒とは、一言でいえば、靈的な毒物に関する信仰である。蠱は毒物で、その毒性を蠱毒と呼ぶが、特定の人物、家庭で使役され、他人に病気などの被害をもたらすとされる。

これらの伝承は、……いずれも特定の家庭や人物が原因とされ、それらを起因源としてなんらかの靈物が被害を及ぼすとされ、周囲の家庭や成員から警戒されたり、忌避されたりする共通性で語られており、一連の類縁性をもった伝承であるように思われた。本書における立脚点と方針は、つまるところ、かかる類縁性をどのように研究主題として提示するかという問題に帰結する。

これらの民俗事象を類縁性としての視座のもとに、一つの総合的な研究テーマとして対象化するためには、まずもってそのような類縁性を統一的に言い表すだけの概念設定がなされる必要がある。しかし、中国の民俗学的研究では、これらの民俗事象の類縁性に着目した研究は、夏之乾氏などを除いて少なく、統一的な概念を設定する試みは、いまだなされていないのが現実である。

……本書は、筆者が専門とする中国民俗学と中国文学の知見を活用し、中国南部地域における研究対象に関わる文献資料を、古籍文献から現代著作まで総合的に取り扱うことを通じ、この種の民俗事象の全体的な連関と見通しを提示し、かかる制約と限界を補うことを目論んでいる。本書後半部の論考は研究対象となる民俗事象の諸事例を、引用によって再配列し、主題となる民俗事象における各引用事項の基本的な位相をつきとめることを目的とし、総合化の努力によって費やされている。現地調査による局地的観点と、文献資料の網羅的な通覧と考察による民俗事象の全体的把握を結びつけ、本書によって名指された蠱毒・運搬靈・鬼人・恋薬などの「呪術的靈物」に相当する民俗事象の実態について初歩的な解明を果たすことが、本書の一連の論考で筆者が目指している課題である。（前言より）

### ● 目次

- 前言 本書の課題について
- 一章 序論——蠱毒・運搬靈・鬼人・恋薬
- 二章 中国各民族の呪術的靈物の信仰伝承  
——族集団別にみた種類と類型
- 三章 雲南省の五通神信仰——保山市隆陽区五郎廟と  
独脚五郎・五郎神の精怪伝承
- 四章 大理白族の「ピョ」にみる  
蠱毒伝承と信仰習俗
- 五章 蠱毒伝承論  
——呪術的靈物の言説にみる民俗的観念
- 六章 蠱毒・地羊・僕食——漢人の「走夷方」からみた  
た西南非漢民族の民族表象1
- 七章 恋薬・鬼妻をめぐる恋愛呪術伝承——漢人の  
《走夷方》からみた西南非漢民族の民族表象2
- 八章 結論 概要と展望
- あとがき  
文献目録  
索引

体裁  
・A5判・上製力バー  
・三六〇頁

税込み定価  
・五二五〇円  
(本体五〇〇〇円)

発行所 風響社

114-0014 東京都北区田端四一―一四九  
電話〇三(三)八二八 九二四九  
http://www.fukyo.co.jp

注文書	
流通センター取扱品	
発売	風響社 TEL: 03-3828-9249
税込み	五二五〇円
部	

地方出版

川野明正著  
中国の「憑きもの」  
華南地方の蠱毒と呪術的伝承

ISBN4-89489-301-0 C3039 ¥5000E

〔お客様控え〕

ご氏名  
ご住所  
お電話

月 日